

当社における健康経営の取り組みにあたって

技術の結晶で未来への価値を創造するために

1. 健康経営の取り組みについて

当社は、日立グループの基本理念である「安全と健康を守るとはすべてに優先する」に基づき、従業員一人ひとりの心身の健康保持・増進と、安全・安心な職場環境づくりに取り組んでいます。取り組み内容については定期健康診断とその後のフォロー、ストレスチェックを活用した一次予防と職場環境の改善、健康リテラシーの向上、生活習慣・運動習慣の改善支援、適正な労働時間管理、年次有給休暇の取得促進、仕事と介護の両立支援など多岐にわたります。さらに、日々の対話や 1on1 を通じたコミュニケーションの活性化により、心理的安全性が保たれ、互いに支え合える職場づくりを推進します。

2. 健康経営の意義について

従業員の健康は、安心して能力を発揮し、技術と知識を磨き、新たな挑戦を続けるための大切な基盤です。健康への取り組みをコストではなく将来に向けた投資と捉え、一人ひとりが生き生きと働ける環境を整えることにより、個人のパフォーマンスを高め、組織の活力とエンゲージメントの向上につなげていきます。その積み重ねが、技術力、創造力、生産性を高め、お客さまや社会に提供する価値の向上につながると考えています。

3. 当社パーパスと健康経営のつながりについて

当社のパーパスは、「技術の結晶で未来への価値を創造する」ことであり、長年培ってきた技術と知識に、革新的な挑戦を融合させ、社会に貢献する製品とサービスを提供し続けるためには、その担い手である従業員が健康であり、安心して働き、誇りと働きがいを持って力を発揮できることが欠かせません。したがって、健康経営は福利厚生の一施策にとどまるものではなく、パーパスと経営方針を実現し、当社が持続的に成長するための重要な経営基盤と位置づけています。

経営トップとして健康経営を重要な経営課題の一つとして推進し、取り組みの状況を継続的に確認しながら改善を重ねてまいります。会社、職場、そして従業員一人ひとりがそれぞれの役割を果たし、ともに健康づくりに取り組むことで、誰もが安心して生き生きと働き、前向きに挑戦できる企業文化を育んでいきます。健康な人財と活力ある組織を礎に、日立アイイーシステムならではの技術の結晶を生み出し、より良い未来への価値創造に貢献していきます。

2026年9月

株式会社 日立アイイーシステム

取締役社長 武本 剛